

令和3年度使用
中学校用教科用図書
採択参考資料

社 会

地理的分野

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	地理 701
17 教出	地理 702
46 帝国	地理 703
116 日文	地理 704

歴史的分野

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	歴史 705
17 教出	歴史 706
46 帝国	歴史 707
81 山川	歴史 708
116 日文	歴史 709
227 育鵬社	歴史 710
229 学び舎	歴史 711

公民的分野

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	公民 901
17 教出	公民 902
46 帝国	公民 903
116 日文	公民 904
225 自由社	公民 905
227 育鵬社	公民 906

社 会

(地理的分野・歴史的分野・公民的分野)

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

(1) 地理的分野

2 東書 17 教出 46 帝国 116 日文

(2) 歴史的分野

2 東書 17 教出 46 帝国 81 山川 116 日文 227 育鵬社 229 学び舎

(3) 公民的分野

2 東書 17 教出 46 帝国 116 日文 225 自由社 227 育鵬社

2 調査研究の観点

(1) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容であるか。

(2) 地域の実情に応じた学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

(3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

(4) 表記や表現、各種の資料が適切であり、資料が活用されやすいよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

(1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。

(2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。

(3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。

(4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

(1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)

① 総頁数・サイズ

② 単元別頁数

③ 世界の諸地域の各州別頁数等（地理的分野のみ）

④ 日本の諸地域の各地方別頁数等（地理的分野のみ）

(2) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること…………… 観点(1)

(3) 課題解決的な学習の充実に関すること…………… 観点(2)(3)

(4) 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること…………… 観点(1)(2)(3)

① 伝統・文化等に関する学習の充実

② 主権者教育等の改善・充実

③ 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

④ グローバル化等への対応

(5) 教材や資料の選択に関すること…………… 観点(2)(4)

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	302
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
「世界と日本の姿」	「世界の姿」	12
	「日本の姿」	12
「世界のさまざまな地域」	「世界各地の人々の生活と環境」	21
	「世界の諸地域」	86
「日本のさまざまな地域」	「地域調査の手法」	16
	「日本の地域的特色と地域区分」	27
	「日本の諸地域」	87
	「地域の在り方」	12
その他		29

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

(3) 世界の諸地域の各州別頁数等

州名	頁	州ごとに設ける主題	取り上げる地球的課題
アジア州	18	急速な都市の成長と変化	人口・居住・都市の問題
ヨーロッパ州	14	国どうしの統合による変化	国家間の統合の問題
アフリカ州	12	国際的な支援からの自立に向けて	食料生産や経済発展での支援の問題
北アメリカ州	14	多くの人々を引きつける地域	地域格差の問題
南アメリカ州	12	開発の発展と環境問題	環境保全と開発の問題
オセアニア州	12	強まるアジアとの結び付き	多文化社会の形成の問題

(4) 日本の諸地域の各地方別頁数等

地方名	頁	考察の仕方	地域的特色や地域の課題
九州地方	12	自然環境	自然環境の影響を受けつつ、産業や生活・文化が発達している。
中国・四国地方	12	交通・通信	交通・通信網が重要な役割を果たしている。
近畿地方	12	人口、都市・村落	都市や農村の姿が変化している。
中部地方	12	産業	各地に個性豊かな産業が発達している。
関東地方	12	交通・通信	他地域との強い結び付きが見られる。
東北地方	12	生活・文化	伝統的な生活・文化を守り、継承する動きが見られる。
北海道地方	12	自然環境	多くの農産物を出荷したり、多くの観光客が訪れたりする。

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「チェック」「トライ」で構成されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、各節が、導入写真・地図 → 自然環境、歴史、生活・文化、産業など → 「基礎・基本のまとめ」で構成されている。
- 「地域調査の手法」では、テーマの決め方、視点の例、調査の手順、必要な技能等が示されている。
- 技能の習得に関して、「スキル・アップ」が設けられている。
- 巻末には、世界の主な国や日本の都道府県のあらましが確認できる「統計・資料」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている用語の意味を確認できる「用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、地理的な見方・考え方がコーナーで示されている。
- 章の始めに「探究課題」が示され、章のまとめの活動では、その「探究課題」を解決するための「探究のステップ」が設けられている。また、全ての単元において、単元の始めに「導入の活動」、各項に「学習課題」「チェック」「トライ」、単元の最後に「まとめの活動」という活動が設けられている。
- 全ての単元において、「基礎・基本のまとめ」等においてグループで取り組む活動が示されている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 各地の生活・文化を踏まえた日本の諸地域の学習については、「日本の諸地域」の地方別学習において取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 地域の在り方で取り扱う考察、構想については、「地域の在り方」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「自然災害と防災・減災への取り組み」「もっと地理『震災から命を守る』」「自然環境に適応する人々の工夫」「ニュータウンの建設と都市の開発」「過去の継承と未来に向けた社会づくり」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領域の特色」「北方領土・竹島と尖閣諸島」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 地球的課題を主題とした世界の諸地域の学習については、「世界の諸地域」の州別学習において取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各見開きでは章ごとに枠組みの色が統一され、「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、左下端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	304
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
「世界と日本の地域構成」	「世界の地域構成」	10
	「日本の地域構成」	8
「世界のさまざまな地域」	「世界の人々の生活と環境」	19
	「世界の諸地域」	82
「日本のさまざまな地域」	「地域調査の方法を学ぼう」	14
	「日本の特色と地域区分」	26
	「日本の諸地域」	101
「地域のあり方」		8
その他		36

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

(3) 世界の諸地域の各州別頁数等

州名	頁	州ごとに設ける主題	取り上げる地球的課題
アジア州	18	経済発展	人口問題
ヨーロッパ州	16	国々の結び付きの強まり	環境問題
アフリカ州	10	他地域からの支援	人口・食料問題
北アメリカ州	14	先進的で多様な産業の発達	多民族の共存の問題
南アメリカ州	12	自然破壊や都市の人口増加	環境問題、都市問題
オセアニア州	12	他地域との関係の強まり	多民族の共存の問題

(4) 日本の諸地域の各地方別頁数等

地方名	頁	考察の仕方	地域的特色や地域の課題
九州地方	14	自然環境とその保全	人々の生活や経済活動が自然環境にさまざまな影響を及ぼしている地域
中国・四国地方	14	人口集中と人口減少	人口集中により発達した地域や、人口減少により生活困難が見られる地域
近畿地方	14	歴史	地域の歴史的な背景や移り変わりが見られる地域
中部地方	14	産業	東海地方、中央高地、北陸地方から成り立ち、独自の発展をとげてきた地域
関東地方	14	交通・通信	政治・経済・文化などで中心的な役割を果たしている地域
東北地方	14	伝統文化と地域の変化	都市化や国際化によって、伝統文化に変化が見られる地域
北海道地方	15	自然環境と関連する産業	開発の歴史が浅いため、未開発のまま自然環境が残されている地域

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認!」「表現!」で構成されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、各節が、導入写真 → 自然環境 → 歴史、生活・文化、産業など → 「学習のまとめと表現」で構成されている。
- 「地域調査の方法を学ぼう」では、調査のテーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能等が示されている。
- 技能の習得に関して、「地理の技」が設けられている。
- 巻末には、世界の国々や日本の都道府県のあらましが確認できる統計資料が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている用語の意味を解説した「用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 地理的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、各見開きの「学習課題」「確認!」「説明!」、単元の最後の「振り返って整理しよう」が設けられている。
- 「学習のまとめと表現」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 各地の生活・文化を踏まえた日本の諸地域の学習については、「日本の諸地域」の地方別学習において取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 地域の在り方で取り扱う考察、構想については、「地域のあり方」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「地域の防災について調べる」「他の地域と比べる」「自然災害に向き合う」「災害から身を守るために」「火山とともに暮らす」「豊かな風土に育まれた文化をもつ地域」、東北地方の特設ページ「現代日本の課題を考えよう『震災の経験を受け継ぎ、未来に生かす』」、「コラム『地理の窓』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の国土の広がり」「日本の領土をめぐる」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 地球的課題を主題とした世界の諸地域の学習については、「世界の諸地域」の州別学習において取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各見開きでは章ごとに枠組みの色が統一され、ページ表記も色分けされている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	310
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
「世界と日本の地域構成」	「世界の姿」	12
	「日本の姿」	12
「世界のさまざまな地域」	「人々の生活と環境」	21
	「世界の諸地域」	83
「日本のさまざまな地域」	「身近な地域の調査」	12
	「日本の地域的特色」	28
	「日本の諸地域」	115
「地域の在り方」		11
その他		16

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

(3) 世界の諸地域の各州別頁数等

州名	頁	州ごとに設ける主題	取り上げる地球的課題
アジア州	18	急速な経済成長	都市・居住問題
ヨーロッパ州	16	国どうしの結び付きの強まり	経済格差
アフリカ州	12	特定の産物に頼る経済	食料問題
北アメリカ州	14	巨大な産業	生産と消費の問題
南アメリカ州	12	農地や鉱山の開発	熱帯林の破壊
オセアニア州	10	他地域との関係	多文化の共生

(4) 日本の諸地域の各地方別頁数等

地方名	頁	考察の仕方	地域的特色や地域の課題
九州地方	16	自然環境	温暖な気候を生かした産業の発展 火山への対策
中国・四国地方	16	交通や通信	交通や通信を生かした産業の発展 過疎地域の活性化
近畿地方	16	環境保全	環境に配慮した産業の発展 自然環境や歴史的景観の保全
中部地方	16	産業	地域の特性を生かした新たな産業の発展
関東地方	18	人口や都市・村落	人口の集中を生かした産業の発展 過密への対策
東北地方	16	生活・文化	伝統文化を生かした産業の発展 伝統文化の継承
北海道地方	16	自然環境	寒冷な気候を生かした産業の発展 厳しい寒さや雪への対策

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認しよう」「説明しよう」で構成されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、各節が、導入写真 → 自然環境 → 歴史 → 生活・文化 → 産業など → 「節の学習を振り返ろう」で構成されている。
- 「身近な地域の調査」では、調査のテーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能等が示されている。
- 技能の習得に関して、「技能をみがく」が設けられている。
- 全ての単元において、用語を解説する「解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている地名を探せる「地名さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 「地理的な見方・考え方」に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、「章（節）の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、単元の最後の「章（節）の問いを振り返ろう」が設けられている。
- 全ての単元において、「章（節）の学習を振り返ろう」では、「章（節）の問い」に対して「ステップ」が設けられている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」においては、特設ページ「～＜深い学び＞のために～」でグループで取り組む活動が示されている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の学習のしかた」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 各地の生活・文化を踏まえた日本の諸地域の学習については、「日本の諸地域」の地方別学習において取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 地域の在り方で取り扱う考察、構想については、「地域の在り方」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「日本のさまざまな自然災害」「自然災害に対する備え」「ハザードマップの読み取り方」「防災情報の入手のしかた」、東北地方の特設ページ「地域の在り方を考える『災害からの復興と生活の場の再生』」「コラム『未来に向けて』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領域とその特色」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 地球的課題を主題とした世界の諸地域の学習については、「世界の諸地域」の州別学習において取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各見開きでは章ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	298
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
「世界と日本の地域構成」	「世界の地域構成」	11
	「日本の地域構成」	11
「世界のさまざまな地域」	「世界各地の人々の生活と環境」	20
	「世界の諸地域」	75
「日本のさまざまな地域」	「地域調査の手法」	20
	「日本の地域的特色と地域区分」	25
	「日本の諸地域」	100
	「地域のあり方」	11
その他		25

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

(3) 世界の諸地域の各州別頁数等

州名	頁	州ごとに設ける主題	取り上げる地球的課題
アジア州	14	人口や経済発展	経済発展の地域格差や都市問題
ヨーロッパ州	14	国境を越えた統合	統合のかけで進む分離の動き
アフリカ州	10	自立のための開発と国際協力	モノカルチャー経済からの自立
北アメリカ州	14	世界に影響をあたえる産業	大量生産・大量消費の生活スタイル
南アメリカ州	10	開発と環境保全	熱帯雨林の伐採による環境破壊
オセアニア州	10	多文化が共生する社会	多様な民族の共生

(4) 日本の諸地域の各地方別頁数等

地方名	頁	考察の仕方	地域的特色や地域の課題
九州地方	14	自然環境	環境問題の克服
中国・四国地方	14	人口と都市・村落	過疎地域の活性化
近畿地方	14	歴史的背景	歴史的遺産と観光の両立
中部地方	14	産業	産業の競争力の維持
関東地方	14	交通・通信	過密問題の解決
東北地方	14	持続可能な社会づくり	震災復興と地域づくり
北海道地方	14	自然環境	自然環境との共生

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、「学習課題」→「見方・考え方」、本文、「深めよう」→「確認」で構成されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、各節が、導入写真 → 自然環境、歴史、生活・文化、産業など → 「学習のまとめ」で構成されている。
- 「地域調査の手法」では、調査のテーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能等が示されている。
- 技能の習得に関して、「スキルUP」が設けられている。
- 巻末には、世界の主な国や日本の都道府県のあらましが確認できる「統計・資料」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている用語の意味を確認できる「用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、各項に地理的な見方・考え方が示されている。
- 「学習のまとめ」において、シンキングツール等の使い方が示されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」において、特設ページでグループで取り組む活動が示されている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の構成と使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 各地の生活・文化を踏まえた日本の諸地域の学習については、「日本の諸地域」の地方別学習において取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 地域の在り方で取り扱う考察、構想については、「地域のあり方」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分」「気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分」「災害に備えるために」「自然災害に影響を受ける人々の生活」「東日本大震災にともなう社会の変化」「震災からの復興と災害に強い地域づくり」、特設ページ「自由研究『釜石の奇跡はなぜ起こったか』」「自由研究『巨大地震にそなえる過疎地域の取り組み』」「自由研究『新しいまちづくりをめざして』」「コラム『スキルUP』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領域の特色をとらえよう」「日本の領域をめぐる問題をとらえよう」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 地球的課題を主題とした世界の諸地域の学習については、「世界の諸地域」の州別学習において取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各見開きでは章ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	308
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史へのとびら」	12
「古代までの日本」	44
「中世の日本」	36
「近世の日本」	50
「開国と近代日本の歩み」	58
「二度の世界大戦と日本」	44
「現代の日本と私たち」	32
その他	32

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「チェック&トライ」で示されている。
- 全ての単元において、「導入の活動」が設けられている。
- 「身近な地域の歴史」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 全ての単元において、技能の習得に関して「スキル・アップ」が設けられている。
- 巻末に用語の解説がまとめて示されている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人名さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、「見方・考え方」が設けられ、それに関連させた課題が示されている。
- 全ての単元において、対話的な活動をするコーナーとして「みんなでチャレンジ」が設けられている。
- 章末の「××の学習を振り返ろう」(××は古代などの時代区分)には、章の始めに示された「探究課題」に関連した節ごとの課題として「探究のステップ」が設けられている。また、章末には「探究課題」を解決するための問いが設けられて、思考ツールを使った解決方法が示されている。
- 「もっと歴史」「地域の歴史を調べよう」「資料から発見」「歴史に学び、未来へと生かそう」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「東アジアとの交流」「琉球王国やアイヌ民族との関係」「国境と領土の確定」、特設ページ「もっと歴史『東アジア世界の国々の交流と琉球文化』」「もっと歴史『アイヌ文化とその継承』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文明」で取り上げられている。
- 市民革命については、「イギリスとアメリカの革命」「フランス革命」「ヨーロッパにおける国民意識の高まり」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「立憲制国家の成立」「大正デモクラシーと政党内閣の成立」「民主化と日本国憲法」「持続可能な社会に向けて」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、特設ページ「もっと歴史『震災の記憶を語りつぐ』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「国境と領土の確定」「領土をめぐる問題の背景」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「モンゴル帝国とユーラシア世界」「モンゴルの襲来」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「中世ヨーロッパとイスラム世界」「ルネサンスと宗教改革」「ヨーロッパ世界の拡大」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「欧米のアジア進出」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦後の国際社会」「持続可能な社会に向けて」、特設ページ「もっと歴史『日本のエネルギーのこれまで』」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した年表を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「時代スケール」が左下に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入力されている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	318
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史のとらえ方・調べ方」	16
「原始・古代の日本と世界」	42
「中世の日本と世界」	36
「近世の日本と世界」	50
「日本の近代化と国際社会」	62
「二度の世界大戦と日本」	46
「現代の日本と世界」	36
その他	30

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認」「表現」で示されている。
- 全ての単元の始めに、「学習をはじめよう」が設けられている。
- 「身近な地域の歴史を調べよう」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、用語の解説が設けられている。
- 全ての単元において、学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「歴史の技」「読み解こう」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人物さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史の見方・考え方と学習の進め方に関するページとして、「歴史にアプローチ」が設けられている。
- 全ての単元において、歴史的な見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての単元において、キャラクターの吹き出しで章の問いが示され、節の問い、各見開きの「学習課題」、節末に「□節をとらえる」(□は章の数字)と章末の「学習のまとめと表現」が、それぞれ設けられている。
- 全ての単元において、グループで話し合い等を行う課題が設定されている。
- 「歴史を探ろう」や「身近な地域の歴史を調べよう」「歴史学習の終わりに」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「楽浪の海中に倭人あり」「北と南で開かれた交易」「琉球・蝦夷地を通じた国際関係」「形づくられる日本」、特設ページ「歴史を探ろう『琉球とアイヌの文化を伝えた人たち』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「すべての道はローマに通ず」で取り上げられている。
- 市民革命については、「王は君臨すれども統治せず」「代表なくして課税なし」、特設ページ「歴史を探ろう『国民国家の成立』」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「憲法の条規により之を行う」「デモクラシーのうねり」「敗戦からの再出発」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「私たちの生きる時代へ」「歴史学習の終わりに『災害の歴史を学ぶ・伝える』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「形づくられる日本」「独立の回復」、特設ページ「歴史を探ろう『隣国と向き合うために』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「大陸をまたぐ大帝国」「海から押し寄せる元軍」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「中世からの脱却」「太陽の沈まない国」、特設ページ「歴史を探ろう『銀で結びつく世界』」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「国をゆるがす綿とアヘン」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「民主化のうねりと国際社会の変化」「未来をひらくために」「歴史学習の終わりに」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した「年表」を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「時代スケール」がタイトル上部に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入力されている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	310
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史のとらえ方と調べ方」	13
「古代国家の成立と東アジア」	44
「武家政権の成長と東アジア」	36
「武家政権の展開と世界の動き」	54
「近代国家の歩みと国際社会」	62
「二度の世界大戦と日本」	46
「現在に続く日本と世界」	30
その他	25

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認しよう」「説明しよう」で示されている。
- 単元の始めに、「タイムトラベル」が設けられている。
- 「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、用語を解説する「解説」が設けられている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「技能をみがく」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人物さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、歴史的な見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての単元において、「章の問い」、「節の問い」、各項の「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第○節の問いを振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」が設けられている。
- 全ての単元において、「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対して話し合いを通して考える「ステップ」が設けられている。
- 「歴史を探ろう」や「多面的・多角的に考えてみよう」「多面的・多角的に構想する」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の学習のしかた」「タイムトラベルの学習のしかた」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「ムラがまとまりクニへ」「琉球とアイヌの人々がつなぐ交易」「琉球王国とアイヌの人々への支配」「沖縄・北海道と『近代』の波」、特設ページ「歴史を探ろう『琉球とアイヌの人々の暮らし』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャとローマの政治と文明」で取り上げられている。
- 市民革命については、「市民革命の始まり」「人権思想からフランス革命へ」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「帝国憲法の成果と課題」「社会運動の高まりと普通選挙の実現」「新時代に求められた憲法」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「コラム『未来に向けて』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「新たな外交と国境の画定」、特設ページ「歴史を探ろう『日本の領土画定と近隣諸国』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「海を越えて迫る元軍」、特設ページ「歴史を探ろう『東アジアに開かれた窓口 博多』」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ヨーロッパの変革」「大航海時代の幕開け」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「世界進出を目指す欧米諸国」「日本を取り巻く世界情勢の変化」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「グローバル化が進む世界」「激変する日本とアジア」「国際社会におけるこれからの日本」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「年表インデックス」が右端に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	294
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史との対話」	9
「古代までの日本」	48
「中世の日本」	40
「近世の日本」	52
「近代の日本と国際関係」	58
「二つの世界大戦と日本」	42
「現在の日本と世界」	30
その他	15

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「ステップアップ」で示されている。
- 単元の始めに、帯年表とその単元に関わる写真等の資料が示されている。
- 「身近な地域を調べよう」では、テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ方、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、用語を解説する「用語解説」が設けられている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 5つ世紀の世界の様子に関する地図とイラストが設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人物さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、各項に「学習課題」が設けられている。
- 全ての単元において、各章末に「まとめ」が設けられている。
- 全ての単元において、掲載されている資料に問いが設けられている。
- 「歴史へのアプローチ」の特設ページでは、テーマ別の課題が示されている。
- 「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」の特設ページでは、グループで意見交換をする課題が示されている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「稲作の広まりと弥生文化」「江戸時代の対外関係」「明治初期の対外関係」、特設ページ「歴史へのアプローチ『琉球の歴史と文化』『アイヌ民族の歴史と文化』『札幌』『沖縄』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「地中海文明の発展」で取り上げられている。
- 市民革命については、「市民革命の時代」、特設ページ「歴史へのアプローチ『国家とは何か』」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「憲法制定と帝国議会」「社会運動の高まりと普通選挙法の制定」「占領下の日本」、特設ページ「歴史にアプローチ『第1回普通選挙の実態を探る』」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「今の日本、これからの日本」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「明治初期の対外関係」、特設ページ「歴史にアプローチ『日本の領土の変遷』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望」、特設ページ「13世紀の世界」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ルネサンスと宗教改革」「大航海時代とヨーロッパの海外進出」「ユーラシア大陸と海でつながる世界」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「欧州列強のアジア侵略」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦の終結」「今の日本、これからの日本」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した「帯年表」を設けている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、各項に見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	334
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「私たちと歴史」	8
「古代までの日本と世界」	50
「中世の日本と世界」	42
「近世の日本と世界」	52
「近代の日本と世界（日本の近代化）」	62
「近代の日本と世界（二度の世界大戦と日本）」	40
「現在の日本と世界」	38
その他	42

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認」で示されている。
- 全ての単元の始まりに、「地図で見る世界の動き」が設けられている。
- 「でかけよう地域調べ」が単元ごとに設けられ、史跡や博物館等の見学の仕方、古地図の読み取り方等が、それぞれ示されている。
- 全ての単元において、用語の解説として、「基本用語」が設けられている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「スキルUP」が設けられている。
- 巻末には、テーマ別に事項を探せる「テーマ別さくいん」、教科書で扱っている人物を探せる「人名さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 「歴史的な見方・考え方とは？」が設けられている。
- 全ての単元において、各項に「見方・考え方」が示され、「深めよう」が示されている。
- 全ての単元において、単元の学習の「めあて」が示され、各見開きの「学習課題」「確認」、各編末の「学習の整理と活用」では問いが設けられている。「学習の整理と活用」では、「アクティビティ」が示されている。
- 話合いを通して示された課題を解決する、「チャレンジ歴史」が設けられている。
- 「歴史を掘り下げる」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の構成と使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「稲作の広まりと弥生時代」「東アジアとの交流と琉球王国の成立」「隣接地域との関係とアイヌ文化の成熟」「領土の画定と隣接地域」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文明」で取り上げられている。

○市民革命については、「王政から議会制へ」「アメリカの独立とフランス革命」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「藩閥政府と民党」「社会運動の広がり」「平和で民主的な国家をめざして」、特設ページ『歴史との対話』を未来に活かす課題例②『政治参加の歴史に学ぶ』で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、コラム「先人に学ぶ『私たちにできることー震災の教訓を未来に伝えるー』」、特設ページ『歴史との対話』を未来に活かす課題例①『災害の歴史に学ぶ』で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土の画定と隣接地域」、特設ページ「歴史を掘り下げる『冷戦終結後の近隣諸国との関係』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「元の襲来と鎌倉幕府」、特設ページ「地域にまなぶ『海底から姿を現した元の軍船』」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「イスラム教の世界とキリスト教の世界」「つながれてゆく世界」、特設ページ「地図で見る世界の動き『15世紀の世界と日本』」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「列強の動向とアジア」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「これからの世界と日本の課題」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の冒頭の特設ページ「地図で見る世界の動き」に学習内容の時期を示した「年表」を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「年表スケール」が右端に設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	318
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史探検！歴史の流れと先人の活躍」	11
「原始と古代の日本」	50
「中世の日本」	34
「近世の日本」	52
「近代の日本と世界」	60
「二度の世界大戦と日本」	42
「現在の日本と世界」	33
その他	36

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「学習のまとめ」で示されている。
- 全ての単元のはじめに、鳥の目で歴史を大観する「歴史絵巻」と「虫の目で見ると××」(××は古代などの時代区分)が設けられている。
- 「地域の歴史を調べてみよう」では、調査のしかた、必要な技能、調査のまとめ方、発表の仕方等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 全ての単元において、用語の解説が設けられている。
- 古代から近代の単元において、各章末に「なでしこ日本史」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探せる「人名さくいん」、事項を探せる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、章末の「××の時代をふり返って考えてみよう」(××は古代などの時代区分)では、問いが設けられている。
- 全ての単元において、歴史的な見方・考え方がキャラクターの吹き出しで示されている。
- 全ての単元において、「歴史のターニングポイント」が設けられ、グループやクラスで話し合うための課題が示されている。
- 全ての単元において、「私の歴史博物館をデザインしてみよう」が設けられている。
- 「歴史ズームイン」や「このころ世界は」の特設ページが設けられている。
- 歴史学習のまとめとして、「歴史新聞をつくろう」「日本の歴史を大観する」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「稲作・弥生文化と邪馬台国」「琉球、アイヌとアジアの交易」「『鎖国』時代にかかれていた窓口」、「明治初期の外交と国境の画策」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャとローマの文明」、特設ページ「このころ世界は『ローマ帝国と日本の古墳時代』」で取り上げられている。

○市民革命については、「市民革命と近代社会の成立」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「大日本帝国憲法の制定と帝国議会」「大正デモクラシーと政党政治」「占領下の日本と日本国憲法」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「日本の現状とこれから」、特設ページ「歴史ズームイン『震災の日本史』」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「明治初期の外交と国境の画定」「日本の現状とこれから」、特設ページ「歴史ズームイン『わが国の領土をめぐる問題の歴史－近隣諸国との課題－』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「元寇と鎌倉幕府のおとろえ」、特設ページ「このころ世界は『ユーラシアを一つにつないだモンゴル』」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ヨーロッパ人の世界進出」、特設ページ「このころ世界は『ルネサンスと宗教改革』」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「欧米列強のアジア進出」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「地域紛争とグローバル化」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の扉ページに学習内容の時期を示した「年表モノサシ」を設けている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	308
サイズ	A4判

(2) 単元別頁数

単元名	頁
「歴史への案内」	6
「文明のはじまりと日本列島」	26
「日本の古代国家」	18
「武士の世」	32
「世界がつながる時代」	20
「百姓と町人の世」	30
「世界は近代へ」	24
「近代国家へと歩む日本」	22
「帝国主義の時代」	30
「第二次世界大戦の時代」	34
「現代の日本と世界」	36
その他	30

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 で示されている。
- 章のはじめに、北極を中心とした地図とテーマに沿った写真等の資料が示されている。
- 人物調べについて、調べる人物の決め方、調べ方、まとめ方等について示されている。
- 全ての単元において、学習内容に関するコラムが設けられている。
- 全ての単元において、用語の解説が設けられている。
- 年表には、時代区分に「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄が設けられている。
- 巻末の「歴史地図（日本）」には、千島列島から南西諸島に至る地域が示されている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物や事項を探せる「索引」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、「××の学習課題」（××は古代などの時代区分）、各項の「学習課題」が設けられている。
- 全ての単元において、各章末に「第□章をふりかえる」（□は数字）が設けられている。
- 全ての単元末に設けられている「第□部××学習のまとめ」（××は古代などの時代区分）では、グループやクラスで話し合う課題が示されている。
- 「歴史を体験する」の特設ページが設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「稲作がはじまる」「アジアの海をつなぐ王国」「北の海から来た昆布」「江戸に行く朝鮮通信使」「北・南を組み込み、国境を引く」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「円形競技場の熱狂」で取り上げられている。

○市民革命については、「アメリカの大地に生きる」「バスチーユを攻撃せよ」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「天皇主権の憲法」「デモクラシーの波」「焼け跡からの出発」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「3月11日午後2時46分」「未来は私たちの手の中に」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「北・南を組み込み、国境を引く」「インドも中国も来なかった」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「一つにつながるユーラシア」、第3章扉ページで取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「インドに出現した船隊」「大西洋の東と西で」、第4章扉ページで取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「インド大反乱と太平天国」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「未来は私たちの手の中に」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の扉ページに学習内容の時期を示した「年表インデックス」を設けている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○インターネット検索を補助する検索ワードを掲載している。

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	262
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
現代社会	「現代社会と私たち」	31
政治	「個人の尊重と日本国憲法」	38
	「現代の民主政治と社会」	52
経済	「私たちの暮らしと経済」	52
国際社会	「地球社会と私たち」	34
「より良い社会を目指して」		6
その他		49

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには、「導入の活動」がイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「チェック&トライ」で構成されている。
- 各節末には「探究のステップ」が、各章末には「第□章の学習をふり返ろう」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関して、「公民にアクセス」「もっと公民」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「スキルアップ」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探せる「資料」、事項を探せる「さくいん」、用語を解説する「解説」、戦後から現代までの「歴史年表」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 対話的な活動に関して、「みんなでチャレンジ」が設けられている。
- 各節末には「探究のステップ」が設けられている。
- 全ての単元において、探究課題（章の問い）に対する「まとめの活動」が設けられている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「持続可能な社会の実現のために何ができるか」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 文化の継承と創造の意義について、「私たちの生活と文化の役割」「伝統文化と新たな文化の創造」「多文化共生を目指して」、特設ページ「オリンピック・パラリンピックと日本の心」、巻末資料で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 選挙など国民の政治参加や18歳選挙権について、「現代の民主政治」「地方自治と私たち」等で取り上げられている。
- 少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障の仕組み」「少子高齢化と財政」で取り上げられている。
- 仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「労働の意義と労働者の権利」「労働環境の変化と課題」で取り上げられている。
- 個人や企業の経済活動における役割と責任について、「企業の種類」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災について、「情報化 情報が変える社会の仕組み」「住民参加の拡大と私たち」、特設ページ「もっと公民『東日本大震災からの復興と防災』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土をめぐる問題の現状」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的変化について、「情報化 情報が変える社会の仕組み」、特設ページ「もっと公民『新しい情報技術で社会が変わる』」で取り上げられている。
- 起業について、「企業の種類」で取り上げられている。
- 国連における持続可能な開発のための取組について、「国際連合の仕組みと役割」「貧困問題」、特設ページ「導入の活動『SDGsから地球規模の課題についてとらえよう』」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項では章ごとに枠組みの色が統一され、ページ表記も色分けされている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	272
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
現代社会	「私たちの暮らしと現代社会」	26
政治	「個人を尊重する日本国憲法」	44
	「私たちの暮らしと民主主義」	46
経済	「私たちの暮らしと経済」	40
	「安心して豊かに暮らせる社会」	24
国際社会	「国際社会に生きる私たち」	36
	「私たちが未来の社会を築く」	8
その他		48

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには、「学習のはじめに」がイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料「LOOK」→「学習課題」→本文→「確認と表現」で構成されている。
- 本文の学習内容等に関して、「公民の窓」「クリップ」が設けられている。
- 各章末には、「STEP1」「STEP2」が設けられている。
- 技能の習得に関して「公民の技」と「情報収集と活用」が設けられている。
- 巻頭には戦後から現代までの「歴史年表」、巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探せる「資料」、事項を探せる「さくいん」、用語を解説する「解説」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 現代社会の見方・考え方に関して、「見×考」が設けられている。
- 対話的な活動に関して、「言葉で伝え合おう」「読んで深く考えよう」が設けられている。
- 各章末にある「学習のまとめと表現」では、「STEP3」が設けられている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「私の提案～自分を変える、社会を変える～」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 文化の継承と創造の意義について、「豊かな生活を実現するために」「伝統文化の継承と文化の創造」、特設ページ「読んで深く考えよう『つなげたい、日本の伝統や文化』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 選挙など国民の政治参加や18歳選挙権について、「民主政治と日本の政治」「地方自治と住民の参加」等で取り上げられている。
- 少子高齢社会における社会保障の意義について、「身のまわりの社会保障制度」「互いに助け合う社会」「社会保障の維持のために」で取り上げられている。
- 仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働くということ」「安心して働ける社会」で取り上げられている。
- 個人や企業の経済活動における役割と責任について、「株式会社ってなんだろう」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災について、「急速に発展する情報社会」「変わりゆく地域社会」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領土をめぐって」、特設ページ「読んで深く考えよう『日本の外交の今とこれから』」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「急速に発展する情報社会」「新たな日本経済のあり方」で取り上げられている。
- 起業について、「生産活動をになう主体」、特設ページ「ことばで伝え合おう『起業にチャレンジしてみよう』」で取り上げられている。
- 国連における持続可能な開発のための取組について、「安全をおびやかすもの」「持続可能な未来と私たち」、巻頭資料、巻末資料で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項では分野ごとに枠組みの色が統一され、右下端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	246
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
現代社会	「現代社会と文化」	16
	「現代社会をとらえる枠組み」	10
政治	「日本国憲法」	38
	「民主政治」	42
経済	「市場経済」	50
	「財政」	14
国際社会	「国際社会」	32
	「課題の探究」	8
その他		36

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには、「学習の前に」がイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認しよう」「説明しよう」で構成されている。
- 各項の中に用語を解説する「解説」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「技能をみがく」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関する「公民プラス」や、社会の様々な課題に取り組む人々へのインタビュー「先輩たちの選択」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探せる「資料」、事項を探せる「さくいん」、戦後から現代までの「歴史年表」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元において、「章の問い」、「節の問い」、各項の「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末の「第○節の問いを振り返ろう」と章末の「章の学習を振り返ろう」が設けられている。
- 対話的な活動に関して、「アクティブ公民」「未来に向けて」が設けられている。
- 全ての単元において、章末の「章の学習を振り返ろう」では「ステップ」が設けられている。
- 「課題の探究」では、地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「持続可能な社会の実現のために何ができるか」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の学習のしかた」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 文化の継承と創造の意義について、「生活に息づく文化」「日本の伝統と文化」、特設ページ「先輩たちの選択『伝統を受け継ぎアップデートしていく』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 選挙など国民の政治参加や18歳選挙権について、「民主政治と私たち」「地方自治と私たち」等で取り上げられている。
- 少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障と私たちの生活」で取り上げられている。
- 仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働くことの意義と労働者の権利」「労働環境の変化と私たち」で取り上げられている。
- 個人や企業の経済活動における役割と責任について、「企業の社会的責任」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災について、「情報化が進む現代」「地方公共団体のしくみと政治参加」、巻末資料で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土を巡る取り組み」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「情報化が進む現代」「これからの日本の経済と私たち」で取り上げられている。
- 起業について、「私たちの生活と企業」、特設ページ「アクティブ公民『企業の企画書を完成させよう』」で取り上げられている。
- 国連における持続可能な開発のための取組について、「国際社会のよりよい発展」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項では部ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り込められている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	264
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
現代社会	「私たちと現代社会」	28
政治	「私たちの生活と政治 ～個人の尊重と日本国憲法～」	44
	「私たちの生活と政治 ～国民主権と日本の政治～」	44
経済	「私たちの生活と経済」	54
国際社会	「私たちと国際社会」	36
	「私たちの課題」	9
その他		49

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには、「学習の始めに」がイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認」で構成されている。
- 本文の学習内容等に関して、「公民+α」が設けられている。
- 各編(章)末には、「学習の整理と活用」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「情報スキルアップ」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探せる「法令集」、事項を探せる「さくいん」、用語を解説する「用語解説」「類似用語集」、戦後から現代までの「歴史年表」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 現代社会の見方・考え方に関して、「アクティビティ」が設けられている。
- 全ての単元において、各項に「見方・考え方」「深めよう」が示されている。
- 編(章)末には、現代社会の課題に関して、「チャレンジ公民」が設けられている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、持続可能な社会の実現に関して、レポート作成やプレゼンテーションを行う学習活動が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の構成と使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○文化の継承と創造の意義について、「現代社会における文化」「日本の伝統文化の特徴と多様性」「世界のなかの日本の文化」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○選挙など国民の政治参加や18歳選挙権について、「民主政治と政治参加」「暮らしを支える地方自治」等で取り上げられている。

○少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障のしくみ」「少子高齢化における福祉の充実と財源」、特設ページ「明日に向かって『年金のしくみについて知ろう』」「チャレンジ公民『社会保障のあり方について考えよう』」で取り上げられている。

○仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働く意味と労働者を支えるしくみ」「変化する雇用のかたち」「女性の働く環境と高齢者雇用」で取り上げられている。

○個人や企業の経済活動における役割と責任について、「株式会社のしくみと企業の社会的責任」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災について、「情報化で変わる社会と私たち」「私たちの暮らしと地方自治」、特設ページ「明日に向かって『災害に強いくらしをきずく』」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領土をめぐる問題」、特設ページ「公民+α『日本の領土をめぐる問題の解決に向けて』」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

○人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「情報化で変わる社会と私たち」で取り上げられている。

○起業について、「企業の競争と独占の問題」で取り上げられている。

○国連における持続可能な開発のための取組について、「持続可能な社会をめざして」、巻頭資料で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○全ての単元において、各項では編ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。

○専用サイトから資料や情報を得ることができる。(QRコードとURLが掲載されている。)

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	270
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
現代社会	「現代日本の自画像」	22
	「個人と社会生活」	20
政治	「立憲国家と国民」	22
	「日本国憲法と立憲的民主政治」	56
経済	「国民生活と経済」	44
国際社会	「国際社会に生きる日本」	42
	「持続可能な社会を目指して」	18
その他		46

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各章の始めに学習課題が示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「ここがポイント！」で構成されている。
- 全ての単元において、「ミニ知識」が設けられている。
- 本文の学習内容や関連する内容について、「もっと知りたい」の特設ページが設けられている。
- 政治参加に関して、「ディベートをやってみよう」が実践例を交えて示されている。
- 単元内容の確認に関して、各章末には「学習のまとめ」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探せる「法令集」、事項を探せる「さくいん」、戦後から現代までの「歴史年表」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 現代社会の見方・考え方に関して、各項に「やってみよう」が設けられている。
- 全ての単元において、「アクティブに深めよう」が設けられている。
- 各章末にある「学習の発展」では、様々な問いが設けられている。
- 「課題の探究」では、レポート作成やプレゼンテーションを行う学習活動が設けられている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「持続可能な社会の実現のために何ができるか」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書で学ぶにあたって」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 文化の継承と創造の意義について、「日本の自画像」「文化の継承と創造」、特設ページ「もっと知りたい『日本人の精神』『科学とは何だろう』『芸術とは何だろう』『宗教とは何だろう』」、巻末資料で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 選挙など国民の政治参加や18歳選挙権について、「議会制民主政治」「地方公共団体の仕組みと課題」等で取り上げられている。
- 少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障制度の充実」、特設ページ「もっと知りたい『年金について考えてみよう』」で取り上げられている。
- 仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働くことの意味」「働く人の保護」で取り上げられている。
- 個人や企業の経済活動における役割と責任について、特設ページ「もっと知りたい『企業はだれのものか』」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災について、「情報社会」、特設ページ「もっと知りたい『地方自治と防災』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「国家と国際関係」、特設ページ「もっと知りたい『我が国の領土問題』『海をめぐる国益の衝突』」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「情報社会」、巻頭資料で取り上げられている。
- 起業について、「企業の仕組みとはたらき」、特設ページ「アクティブに深めよう『お店を出店しよう』」で取り上げられている。
- 国連における持続可能な開発のための取組について、「人口爆発と地球規模の福祉」「持続可能な日本と世界」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項では章ごとに枠組みの色が統一され、ページ表記も色分けされている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

総頁数	254
サイズ	A B判

(2) 単元別頁数

単元名		頁
現代社会	「私たちの生活と現代社会」	28
政治	「私たちの生活と政治 ～日本国憲法の基本原則～」	40
	「私たちの生活と政治 ～民主政治と政治参加～」	40
経済	「私たちの生活と経済」	52
国際社会	「私たちと国際社会の課題」	36
	「よりよい社会をめざして」	7
その他		51

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めにある「□□の入り口」では、図やグラフを用いてその章で学ぶ課題が示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「学習のまとめ」で構成されている。
- 技能の習得に関して、「スキルアップ！」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関して、「学習を深めよう」が設けられている。
- 各章末にある「学習のまとめ」には、様々な問いが設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探せる「法令集」、事項を探せる「さくいん」、用語を解説する「用語解説」、戦後から現代までの「歴史年表」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 本文の学習に関連した個人や小集団での学習（ディベートやシミュレーションなど）を行う「やってみよう」が設けられている。
- 資料について取り組む課題が「TRY！」で示されている
- 対話的な活動に関して、各章末には「□□のこれから」が設けられている。
- 現代社会の見方・考え方に関して、各章末には「学習のまとめ」が設けられている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、よりよい社会の実現に関して、レポート作成やプレゼンテーションを行う学習活動が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○文化の継承と創造の意義について、「文化の意義と影響」「日本の伝統文化」「文化の継承と創造」、特設ページ「やってみよう『身近な祭りを調べてみよう』」、巻末資料で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 選挙など国民の政治参加や18歳選挙権について、「民主政治のしくみ」「地方政治と住民」等で取り上げられている。
- 少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障のしくみ」「社会保障制度と財政」で取り上げられている。
- 仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働くことの意義と労働環境の変化」「労働問題と働き方改革」で取り上げられている。
- 個人や企業の経済活動における役割と責任について、「企業の役割と責任」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災について、「情報から知る現代と未来」「私たちと地方自治」「政府の仕事」、特設ページ「学習を深めよう『情報と大規模災害』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土・領海をめぐる問題」、特設ページ「学習を深めよう『日本の領土をめぐる問題』」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「情報から知る現代と未来」「企業の役割と責任」「金融のはたらき」で取り上げられている。
- 起業について、「企業の役割と責任」で取り上げられている。
- 国連における持続可能な開発のための取組について、「SDGsがめざす持続可能な開発」、第5章まとめ「国際社会のこれから」、巻頭資料で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項では章ごとに枠組みの色が統一され、ページ表記も色分けされている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

